

家族防災会議 を行いましょう！



大切な家族の命を守る「家族防災会議」

災害時に家族があわてず行動できるように、実際に災害が発生した時のことを想定して、家族で防災について話し合いをしましょう。

CHECK POINT 01

一人一人の役割分担を決めましょう！

- 日常的な防災の役割と、災害が起こった時や避難する時の役割を決めておきましょう。
- 災害時に「誰が」「何を」するのか、「何が」必要なか、事前に確認しておきましょう。
- 高齢者や乳幼児がいる家庭では、「誰」が「誰」を助けるのかも決めておきましょう。

※役割分担の例

非常用持出品 / 備蓄品を管理する担当、ガス元栓を閉める担当、ブレーカを切る担当、非常用持出品の担当、高齢者などの保護担当、災害用伝言板 (web171) の担当 など

CHECK POINT 02

家の危険箇所をチェックしましょう！

- 家の内外や周辺に危険箇所がないか、定期的確認・点検しましょう。
- 危険箇所がある場合は、修理や補強などの安全対策について話し合いましょう。

※安全対策の例

- 家具などの転倒防止 (L字金具・支柱などを利用)
- 家具の上に重いものや危険なものを置かない
- 通路や出入口に荷物を置かない
- 屋根瓦がずれたりしていないか確認
- ベランダに飛散するようなものを置かない
- 雨どい・排水溝などを掃除 (スムーズな排水に)
- プロパンガスボンベの固定 など

CHECK POINT 03

非常用持出品 / 備蓄品をチェックしましょう！

- 家族構成を考えながら、必要なものがそろっているか確認 / 準備しましょう。
- 定期的に保存状態や使用期限などを点検し、必要なら交換しておきましょう。
- 「誰が」交換するのも決めておきましょう。
- 食料や水など期限の短いものは、ローリングストックでの備蓄が勧められています。

※ローリングストックとは、普段から少し多く食糧等を購入、使った分だけ買い足すことで、一定量を備蓄する方法です
※非常用持出品・備蓄品の一覧は、市ホームページや、防災アプリで確認してください

CHECK POINT 04

災害時の連絡方法や避難所を確認しましょう！

- 家族が離ればなれになった場合の連絡方法や地域の避難場所 / 避難所を確認しましょう。
- 自宅に近い避難場所 / 避難所を確認し、災害応じた避難ルートについて話し合いましょう。
- 災害時に速やかに避難できるように、休日を利用して家族全員で歩いてみましょう。 防災さんぽ

※各区では、集会場や公園などを「一時避難場所」として決めています。区長さんに確認してください。
※避難ルートを話し合う場合は、ハザードマップで災害リスクについて事前に確認してください。
(地震 / 津波 / 洪水 / 土砂 など)

CHECK POINT 05

隣近所や家族に声を掛け合いましょう！

- 災害情報を取得した時や、避難情報が発表された時は、隣近所でお互いに声を掛け合っていざというときに備えましょう。
- 防災アプリ等を活用し、積極的な情報取得と、ご高齢の方への情報提供をしましょう。
- ご家族 / ご友人が遠くにお住まいの場合も、防災アプリ等で情報取得し、直接電話で伝える取組も推奨されています。 逃げなきヤコール

※逃げなきヤコールとは、離れた場所に住んでいるご高齢の家族などに、直接電話で避難を呼びかける取り組みです

IMPORTANT POINTS

防災 / 災害情報リスト

平常時も災害時も役立つ情報！スマートフォン / 携帯電話で登録・確認！

■坂井市ホームページ

<https://www.city.fukui-sakai.lg.jp>

□坂井市防災アプリ「防災サボ」



※災害用伝言板 (web171) も使えます

□気象庁防災情報 (坂井市)

<https://www.jma.go.jp>



□坂井市防災行政メール



□福井県防災ネット

<http://www.bousai.pref.fukui.lg.jp>

□坂井市ハザードマップ

